

畜産物



滋賀県 (有)澤井牧場 『近江牛をアジアへ』

【主な品目】

牛肉(近江牛)

【主な輸出先国・地域】

シンガポール、タイ、インドネシア等

【輸出取組の概要】

- ◆ 近江牛の輸出に向けて、関係者で「近江牛輸出振興協同組合」を設立
- ◆ 現在、出荷牛の3～4割が輸出向け

【輸出実績】 (平成22年度より輸出開始)

	輸出頭数(頭)	輸出量(t)	出荷時期
平成30年度	345	61.2	通年
平成29年度	301	34.5	
平成28年度	163	13.2	

【効果があった取組】

タイで近江牛のPRと試食のイベントを実施し、現地富裕層からの人気を得た。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 牛肉を輸出するには国ごとに異なる安全基準を満たし、食肉処理施設は相手国の基準を満たし認証を得る必要
- ・ 海外からの要望が高いのはロイン系(リブロース、サーロイン、ヒレ)のみ

【生じた課題への対応】

- ・ 近江牛の輸出拡大に向けて、生産者、加工・流通業者、輸出業者により近江牛輸出振興協同組合を設立し、国や県に対し輸出できる国が増えるよう働きかけ
- ・ 牛肉の部位や切り方に関する知識がない料理人向けの研修会を開催するとともに、必要があれば現地において指導を実施

【対応の結果】

- ・ 組合を設立した平成22年以降、滋賀県食肉センターからの牛肉が輸出可能な国は7カ国・地域まで増加
- ・ 現地指導の結果、使用部位(セカンダリーカット)が増え輸出量増加に繋がった

【今後の課題・展望】

- ・ 近江牛のブランドを守り、価格の安定化を目指していく
- ・ 新たな輸出先国の開拓
- ・ フルセットでの販売強化

【活用した支援・施策】

【ウェブサイト】 <http://sawai-bokujyo.jp>

【連絡先】 担当者名:釜増 勇輝、TEL0748-57-1300



タイ・バンコクの伊勢丹で実施したPRと試食の様子



日本貿易振興機構(JETRO)主催によるシドニーでの商談会の様子 平成30年8月